

軽種馬生産育成強化計画書

令和 年 月

所属地域団体名	
---------	--

融資機関	都道府県名		市町村名		融資機関名		指導者名	所属	
								氏名	
計画作成者 借入希望者	住 所						氏 名（法人名及び代表者名）	印	後継者の有無
									有 ・ 無
									歳
						電話番号	— () —		

1 経営体質強化のための基本的な考え方

区分	項目	内容	現状及び問題点	具体的改善内容
計 画 作 成 者 の 考 え 方	1. 軽種馬の育成向上に関する事項	① 育成馬の選定及び育成技術の改善 ② 育成調教技術者の確保方法の改善		
	2. 経営全体に占める軽種馬育成部門の位置付けに関する事項	① 経営の長期計画の策定 ② 軽種馬の計画生産の実施 ③ 育成・預託契約の締結 ④ 記帳・記録の励行		
	3. 牧場の施設整備計画及び資金計画に関する事項	① 厩舎の整備改良 ② 馬場・放牧柵等の改良 ③ 機械・器具等の改良 ④ 草地の整備更新及び取得		

参 考	育成馬飼養 頭数の推移	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	計画作成時
		頭	頭	頭	頭	頭	頭

2 経営体質強化計画

(1) 経営構造計画

区 分		単位	現況 (年)	目標年 (年)	
家 族 人 員		人			
労 働 力	家族 (実人員)	人			
	うち軽種馬部門	人			
	雇 用	人日			
	うち軽種馬部門	人日			
土 地 利 用	施設の運動場用地	ha			
	うち借用地	ha			
	農 用 地 利 用	農産物生産利用	ha		
		採草放牧利用	ha		
	農用地計	農用地計	ha		
		うち備地	ha		
山 林 原 野	ha				
家 畜 飼 養 (常時)	軽 種 馬	サラ系	頭		
		うち仔分	頭		
		預託	頭		
		アラ系	頭		
		うち仔分	頭		
		預託	頭		

区 分		単位	現況 (年)	目標年 (年)
家 畜 飼 養 (常時)	軽 種 馬	軽種馬計	頭	
		うし系	頭	
		ア系	頭	
	その 他・ 家畜	乳用牛	頭	
		肉用牛	頭	
		養豚他	頭羽	
	施 設 ・ 機 械	厩舎 (畜舎)		棟 m ²
運動場・馬場		Ha m	カ所 ha m	
飼 料 庫		m ²	棟 m ²	
機 械 機 具		トラクター	台	Ps 台
		トラック	台	t 台
			台	t 台
ウオーキングマシン		台		
尿溜・堆肥舎(盤)			基 m ²	
シンジケート株所有		頭株	頭 株	

(2) 生産計画

区		分	単位	現況 (年)	目標年 (年)
作 付 計 画	飼 料 作 物	牧 草	t		
		青 刈 類	t		
		計	t		
	商 品 作 物		kg		
			kg		
			kg		
軽 種 馬 生 産 計 画	サ ラ 系	生産頭数(牡)	頭		
		うち仔分	頭		
		預 託	頭		
		生産頭数(牝)	頭		
		うち仔分	頭		
		預 託	頭		
	ア ラ 系	生産頭数(牡)	頭		
		うち仔分	頭		
		預 託	頭		
		生産頭数(牝)	頭		
		うち仔分	頭		
		預 託	頭		
預 託 育 成	預託育成頭数	頭			
	サラ系	頭			
	アラ系	頭			

(3) 経営収支計画

(単位：千円)

区 分		現況 (年)	目標年 (年)
農 業 収 入	軽種馬部門 ①		
	その他部門 ②		
	計 (①+②) ③		
農 業 支 出	軽 種 馬	種付料 ④	
		飼料費 ⑤	
	雇用労賃 ⑥		
	支払利息 ⑦		
	その他経費 ⑧		
	小計 (④+⑤+⑥+⑦+⑧) ⑨		
	その他部門 ⑩		
計 (⑨+⑩) ⑪			
農 業 支	軽種馬部門 (①-⑨) ⑫		
	その他部門 (②-⑩) ⑬		
	計 (⑫+⑬) ⑭		
農 外 収 支	農外収入 (a)		
	農外支出 (b)		
	計 ((a) - (b)) (c)		
農家所得 (⑭ + (c)) (d)			
年金・被贈等 (e)			
農家総所得 ((d) - (e)) (f)			
租税公租諸負担 (g)			
家計費 (h)			
農家経済余剰 ((f) - (g) - (h)) (A)			

(4) 借入金と償還計画

(単位：千円)

資 金 名	当初借入		最終 期限	現 在 残 高	年間要償還額	
	時期	借入額			業種別年(千円)	地域別年(千円)
制度 資金	農業近代化資金	年月		年月	()	()
	農林公庫資金				()	()
	その他制度資金				()	()
	小 計 (うち元金:(a))				()	()
系統・ その他 資金	農協系統資金				()	()
	一般金融機関資金				()	()
	小 計 (うち元金:(b))				()	()
軽種馬 生産育成 強化資金	生産育成施設整備資金				()	()
	生産育成機械取得資金				()	()
	草地更新整備等資金				()	()
	小 計 (うち元金:(c))				()	()
合 計 (うち元金 a+b+c) A	—		—		()	()
差引余剰 (3の(A)) B						
実質余剰 (B - A)	—	—	—	—		

(注) 現況は、前年度の実績を記入して下さい。

(注) 実績は、前年度の実績を、資金の借入件数が複雑にわたっている場合は「当初借入」の「時期」の欄に借入件数を、() は元金をそれぞれ記入して下さい

(5) 資金で整備等を行う「施設」・「機械」・「草地更新等」の内訳

(単位：千円)

区 分	1 生産育成施設整備資金				2 生産育成機械取得資金				3 草地更新等整備資金				総 額	摘 要
	施設名	構造・規模	単価	金 額	機械名	形式・数量	単価	金 額	工種等	数 量	単価	金 額		
全体計画 (令和年度～年度)														
計														
令和 年度														
計														
令和 年度														
計														
令和 年度														
計														

記入に際してのご注意

- 貸付対象の事業種目は、利子補給要綱第6の(1)～(3)の区分による「施設名」、「機械名」等を記入して下さい。
- 単年度事業の場合は、全体計画の欄に事項・数値を記入し、2年にまたがる継続事業の場合には、全体計画及び各年度の計画について事項・数値を記入して下さい。
なお、事業の実施期間は、「草地更新等」を除き、原則として2年以内となっていますのでご注意下さい。
したがって、継続事業であっても、「草地更新等」で3年を超える事業種目を含まない場合には、2ヵ年以内の計画として記入して下さい。
- 事業種目に繁殖牝馬の厩舎を含む場合には、摘要の欄に現況と目標の馬房数を記入して下さい。
なお、繁殖牝馬の対象馬房数には、原則として増頭計画を認めていないことになっておりますので、ご注意下さい。

(添付書類等)

- ◇ 仔分馬又は預託馬を飼養している場合には、仔分又は預託に係る管理契約書を添付して下さい。

別紙

施設機械等記載例

生産育成施設整備資金	生産育成機械取得資金	草地更新等整備資金
施設名	機械名	工種等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 厩舎 ・ 屋内運動場 ・ 収納庫（農機具庫、飼料庫等具体的に） ・ 監視棟 ・ 従業員宿舎 ・ 糞尿処理施設（堆肥舎、堆肥盤、尿だめ等を具体的に） ・ 放牧施設整備（牧柵） ・ 走路整備（牧柵） ・ 走路整備（砂敷） ・ その他（具体的に） <p>注</p> <p>1. 放牧施設整備（牧柵）には、「草地更新等」に該当しないものを記入すること。（「草地更新等」の注1を参照。補助残融資の場合、注意。）</p> <p>2. 補助残融資の場合には、補助事業名を挙げること。（以下同じ。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トラクター ・ アタッチメント（付属作業機名を具体的に） ・ 自走式作業機（ショベルローダー、ローラーベラー等具体的に） ・ トラック（含む、馬運車） ・ その他（具体的に） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草地更新 ・ 草地造成整備 ・ 走路造成整備 ・ その他（具体的に） <p>注</p> <p>1. 「草地更新等」には、耕起等により土壌構造に手を加える工種等が含まれる場合についてのみ記入すること。（補助残融資においても同じ。）</p>